

校長室だより 7月号
No.4 文責:歳田和子

【梅雨の晴れ間に!】

もうすぐ梅雨が明けるようですが、大雨で6月28日(金)は休校措置を取らせていただきました。保護者の皆様には大変お世話になりました。ご協力いただきましたことに感謝いたします。

当日、職員は勤務いたしました。熊本市方面からの道路があちらこちらで冠水し、県道387号線は通行止めの箇所がありました。通常20分で通行できる所を約2時間かかった人もいました。幸い事故に巻き込まれることもなく無事でしたが、児童生徒の通学時間と重なっていたため、子どもたちが車やバスの中で立ち往生となることなくほっとしています。

さて、晴れた日には猛暑となる日が続いています。プール活動が始まり、夏本番となりました。けがや事故がないように、日々の活動を精一杯楽しんでほしいと願っています。



【高等部新校舎 R9 年度に!】

「環境は人をつくる」という言葉があります。本校は昭和42年に開校し、校舎は改修工事を重ねてまいりました。しかし現在児童生徒数増加により、本校校舎には収まり切れない状態があります。それでも何とか工夫を重ねプレハブ校舎を増設し、この過密狭隘化をどうにか過ごしている状態です。

現在、熊本県の計画では、令和8年度に高等部校舎の新築工事に着手し、令和9年度に高等部のみ新校舎に移る予定です。その後、小学部・中学部の改修工事が行われる予定です。

校舎は古く、児童生徒にとって快適とは言えない環境ですが、職員は毎日清掃と環境整備を行い、すこしでも気持ちよく学習ができるよう努力しています。その心が子どもたちに届けば良いと思っています。

ある保護者様から、「せっかくこの学校の小学部に入学したから、高等部まで行って卒業させたい。」とおっしゃった方がおられました。本当にありがたいお言葉です。

校舎は古くても「職員の熱い心で教育を!」という思いで日々の教育活動を行っています。子どもたちの心も体も健やかに成長できるよう、また、新校舎の早期完成を願っております。皆様、今後ともご理解とご協力のほどお願いいたします。